

## 健康長寿に係るイチオシ事業(概要版)

## 健康マイレージ事業

## 事業概要

平成27年3月に策定した健康かわごえ推進プランの推進について、健康無関心層への働きかけが課題と認識され、この健康無関心層を含めた市民の健康づくりへのきっかけづくりと習慣化するまでの継続支援を実現し、健康寿命の延伸及び医療費の抑制に寄与することを目的とし、平成29年度からインセンティブを提供する健康マイレージ事業を導入した。令和元年度に引き続き、令和2年度も「普段の歩数よりプラス1,000歩(10分)多く歩こう」を目標とした取組を引き続き実践している

## 事業内容(参加者数・予算等)

- 参加者数・予算  
令和2年度 新規参加者 1,800名  
(参考)令和元年度 参加者数 3,038名(令和2年3月31日現在)
- 健康マイレージシステムの導入  
平成29年度から「埼玉県コバトン健康マイレージシステム」を導入。
- 事業周知  
HP・広報誌等での周知の他、子育て世代や健康づくり関係団体等へ周知し、口コミによる周知を強化。
- タブレット端末の設置  
参加者の利便性等を考慮し、公共施設をはじめ、民間商業施設やスーパーマーケット等に設置。
- 健康づくりに関する情報提供
- 自主的なウォーキング  
歩数計等を携帯し、歩数計等に蓄積したデータを定期的に送信。

## 事業効果

- 今まで行っている健康づくり事業の参加者と比べ、健康無関心層の世代の参加が多く見られている。
- 1日における平均歩数は、男女共に増加している。

## その他

- 参加者が継続するための支援や健康無関心層の参加者の拡大が課題である。